



食いしん坊のスパッドは、新鮮な卵が大好物！ひまわりの丘では、ニワトリさんに自然のエサをあげて愛情たっぷり育てているから、おいしい卵を毎日うんでくれるんだ。ところで、わたしたちの世界では、化学物質がいろいろなところに使われて、暮らしに役立っているけど、どんな影響があるのかな。

5 あふれる化学物質

1 化学物質のいろいろ

ふだんの生活をふりかえてみると、とてもたくさんの化学物質を利用していることがわかります。

●体内に入るものなど



●肌にふれるものなど



●使うものなど



どれも身近にあるわ。化学物質ってわたしたちの暮らしには欠かせない便利なものよね。



2 化学物質ってなにがいけないのかな？

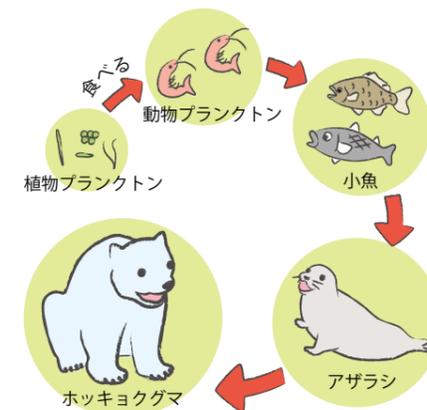
化学物質には自然の中では分解されにくいものもあります。使い方を間違えたり、きちんと処理しないで捨てると、水や大気を通じて動物や植物の体内にたまって、環境や体に悪い影響を与えるおそれがあります。



「知っておこう」 見えない被害「生物濃縮」

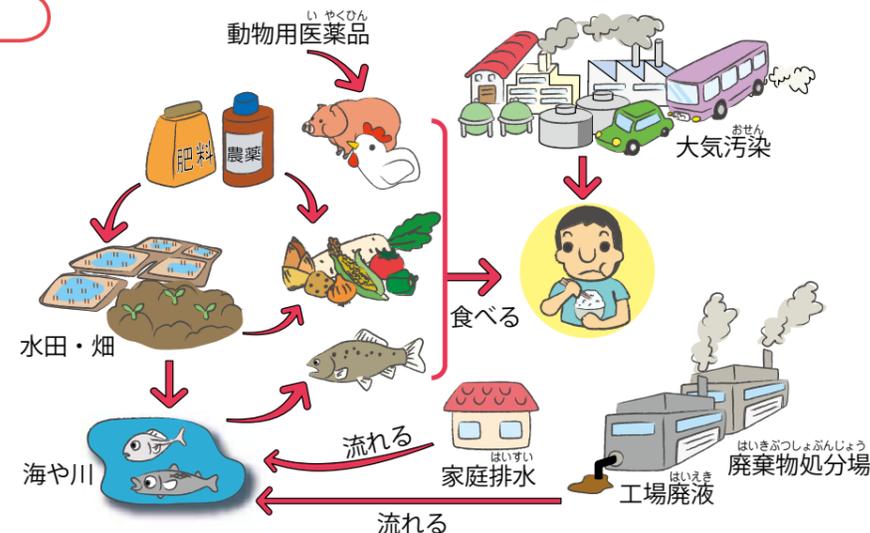
「生物濃縮」とは、海に排出された化学物質が小さなプランクトンの体内に入ると、プランクトンを食べる小魚、小魚を食べるアザラシ、アザラシを食べるホッキョクグマのように、生きもの間の「食う食われる」という関係（食物連鎖）の結果、どんどん化学物質の濃度が濃くなって、生きものの体内にたまっていくことをいいます。

小魚では害のなかった濃度の化学物質が、ホッキョクグマに到達するときには命にかかわる障害を引き起こす濃度になることがあります。



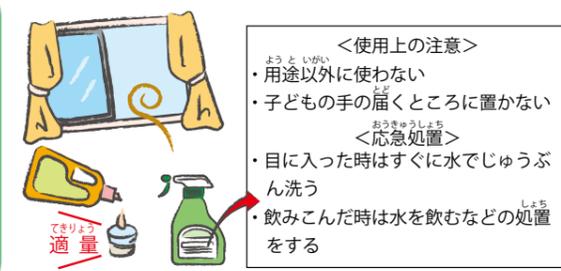
3 捨てないで！

殺虫剤や洗剤、シャンプーなど身のまわりのものに入っている化学物質には、毎日の暮らしの中で家から出て水や大気を汚す原因となるものもあります。正しい使い方や使う量を守って、化学物質と上手につきあいましょう。



●化学物質と上手につきあう方法の例

- 表示をよく読み、使用上の注意を守って正しく使おう。
- 無駄をばぶいて必要な量だけ使うようにしましょう。
- 部屋の中で使うときにはしっかり空気を入れかえをするなど、体にとりこむ量をできるだけ減らすように心がけよう。



身近な化学物質がよく分かる！「かんたん化学物質ガイド」シリーズ

身近な製品に含まれている化学物質について、それらと上手につきあうための情報がわかりやすく説明されているよ。

詳しくはここ→ <http://www.env.go.jp/chemi/communication/guide/index.html>